

[In Chinese - 中文版](#)[In English](#)[In French - en français](#)[In German - auf Deutsch](#)[In Italian - in italiano](#)[In Japanese - 日本語で](#)[In Korean - 한국어](#)[In Russian - на русском](#)[In Spanish - en español](#)

IFCMからのお知らせ

WSCM2020チームからのメッセージ

本来なら2週間前、7月11日に、わたしたちは合唱界をオークランドにお迎えするはずでした。その日の午後、みなさんは受付でバッグとラニヤードを受け取り、カンファレンス・アプリの使い方を学び、シンポジウムのメイン会場に向かっていたでしょう。あるいは、町や港をぶらついてたかもしれません。そう、11日はよく晴れた暖かな日でした！ その日、みなさんは、アオテアロア・ニュージーランドを歌で紹介する、華やかでドラマチックなオープニング・コンサートを楽しんでいただけたことでしょう。

シンポジウムが開催されないという現実と折り合いをつけるのはむずかしいことでした。こちらに寄せられたメッセージから、みなさんの多く——演奏者、後援者、各団体の代表の方々が、同じように感じていることは明らかです。わたしたちは、準備してきたショーを行えない失望からいまだに抜け出せずにいます。

しかし、パンデミックがなおも猛威を振るうなか、歌手や参加予定だったみなさんの多くが経験しているさまざまな苦労の前では、その失望も色褪せてしまいます。わたしたちは世界中の友人たちと連絡を取りつづけており、ふたたび集まれるようになるのはまだ何カ月も先だという合唱団のみなさんのことを思って、やりきれない気持ちでいます。合唱によるつながりを維持するために合唱界の人々が力を合わせて編み出してきた、巧妙かつクリエイティブな解決策の数々には驚くばかりですが、当然ながら、ひとつの部屋で一緒に歌うことに本当に代わるものはないのです。





大変ありがたいことに、現在、ニュージーランドはふたたび練習や演奏会を行える状況にあります。わたしたちはそのことを当然とみなしてはいません。これは、国境封鎖を継続しないかぎり実現できないことなのです——そしてニュージーランド人は、国境封鎖など望んでいません。ニュージーランド国内における“再開”の日は、偶然、この国の祝日“マタリキ”(Matariki)と同じ日になりました。この祝日は、マオリ族の新年と収穫祭の始まりを告げる、マタリキという星団の出現を祝うものです。それは、歓び、回顧し、新たな年を前に夢や希望を考える時なのです。WSCM2020では、マタリキを祝うため、複数の合唱団と作曲家の生み出す斬新な合唱の新作が披露されるはずでした。来年のこの時期に、わたしたちはこの作品を演奏しようと思っています。タンガタ・フェヌア(この地の人々)とともにマタリキを祝うために、わたしたちのシンポジウムのことを思い出すために、そして、未来に目を向けるために。

わたしたちは、ここアオテロアに合唱界を迎える夢を捨ててはいません。いつか、そう遠くない将来、またみなさんに招待状をお送りしたいと思います！

ンナー・ミヒ・マイオハ(どうもありがとう)。

世界青少年合唱団のプレスリリース

世界青少年合唱団財団(World Youth Choir Foundation)から大変うれしいお知らせです。世界青少年合唱団(WYC)が、全米合唱指揮者協会(ACDA)の次回全国大会(American Choral Directors Association (ACDA) National Conference)で演奏することが決まりました。この大会は、2021年3月17日～20日に予定されており、世界青少年合唱団は、この日程に数日の練習期間と追加の公演を加えるかたちで、セッションを行います。

大会の枠内での公演としては、3月17日にウィンスピア・オペラハウスで2公演、演奏会を行い、3月18日には〈ACDA名誉合唱団〉のために非公式に2度、演奏します。大会の期間中、世界34カ国から集まった団員たちは大会内のさまざまな活動に参加することもできます。予定されている団の公演が、それらの活動の日程とぶつかることはありません。ACDA全国大会に参加することで、団員たちはプロとしてキャリアを築くための、大きなチャンスを得られます。またそれは、大会の出席者たちに団のプログラムを宣伝する、素晴らしい機会にもなるでしょう。さらに、大会の枠外の活動として、WYCはダラスで一般向けの演奏会を1～2公演行う予定です。日時と会場は、追って発表されます。

この合唱団は、2016～2019年のWYCに参加した48名の歌い手で構成されます。このセッションの練習期間が3日しかない短期のものであることを考慮し、今回の団員は、ここ何年かのあいだにWYCプロジェクトに参加した歌い手たちから選ばれています。そのような歌い手たちは、すでに団に人脈を持っており、このプロジェクトの使命、ヴィジョン、意義を充分理解しているからです。選考では、バランスのとれた声のブレンドと団員の出身地域の多様性を重視しつつ、質の高いユース・アンサンブルを作ることをめざしました。こちらで団員のリ



ストをごらんください。[here](#)

団の芸術監督には、現在パリでフランス放送合唱団の音楽監督を務めている国際的に有名な指揮者、マルティナ・バティチ ([Martina Batič](#)) (スロベニア) をお迎えする予定です。プログラムは、クラシックと現代曲を取り混ぜた、各大陸の代表的楽曲で構成される40分です。このプログラムにより、団員たちは、4000～5000人の合唱指揮者と5000人の合唱歌手から成るACDAの観客を前に、世界の合唱音楽のすばらしさと多様さを示すことをめざします。



このセッションの情報は、今後数カ月以内に、WYCのSNSチャンネルで配信します。ぜひフォローしてください。2021年3月にダラスでお目にかかれまうように！

IFCM創設メンバーからのお知らせ

全米合唱指揮者協会(ACDA)

予定を空けておきましょう

ACDA全国大会“音楽における多様性”
([ACDA National Conference - "Diversity in Music"](#)) (2021年3月17日～19日、テキサス州ダラス)

ACDA国際事業常設委員会のT・J・ハーパー議長とティム・シャープ事務局長は、「ACDA——世界とつながる」と銘打った一連のウェブセミナーを行い、世界各地の合唱指揮者と対談しました。参加したのは、ケニア、中国、韓

国、スウェーデン、キューバの指揮者たちです。ACDAのYouTubeチャンネル ([ACDA's YouTube channel](#)) でこの対談をお聞きください。



パンデミックのさなかにある合唱のプロのための情報源
([Resources for Choral Professionals During the Pandemic](#))

ACDAは、特に合唱指揮者と合唱指導者のために、情報、アイデア、ツールのページを作成しました。その大部分は無料で、ページは定期的に更新されます。

ACDAの作成した、新型コロナウイルス・パンデミック期における合唱の実践と研究のためのガイダンス、COVID-19対策委員会報告書 ([The COVID-19 Response Committee Report](#)) が2020年6月15日に発表されています。これはアメリカ合衆国をベースに作られたガイダンスですが、他の国々の合唱界のリーダーにとっても興味深いものでしょう。

ACDAは、当協会会員が合唱活動再開を計画する際に参考となるよう、科学的研究の拡充をめざす以下の研究プロジェクトを支援しています。研究の第一段階の結果は、夏の終わりごろに発表される予定です。

- ・ 練習会場での練習再開に新型コロナウイルスが及ぼす影響 ([Study of the Effects of COVID-19 on the Return to the Rehearsal Hall](#)) (コロラド大学ボルダー校)
- ・ パフォーミング・アートにおけるバイオエアロゾルの流出と暴露の削減——COVID-19から無事に帰ってくるための科学的ロードマップ ([Reducing Bioaerosol Emissions and Exposures in the Performing Arts: A Scientific Roadmap for a Safe Return from COVID-19](#)) (コロラド州立大学)



ヨーロッパ合唱連盟(ECA-EC)

“リーディング・ヴォイセス”のためのアンケート

ヨーロッパ合唱連盟

([European Choral Association - Europa Cantat](#))は、指揮者、合唱のリーダー、音楽教育者、作曲家、編曲家、クリエイター、合唱団のマネージャー、学生、指導者のための新たなイベント、“リーディング・ヴォイセス”(Leading Voices)を計画しています。このイベントは、2022年7月にオランダのユトレヒトで、地元の後援団体ZIMHCの協力により実施されます。このたびはその幹事らが、すべての参加者にとって実りあるイベントを用意するため、イベントの対象者となるみなさんのご意見をうかがうアンケートを作成しました。どうか、こちらのフォーム([fill in this survey](#))にご記入になり、ご意見ご要望をお寄せください。みなさんのご回答により、このイベントは、多様なターゲット層の全員にとって有益で魅力的なものとなるでしょう。よろしくお願いします！



新型コロナウイルスと集団歌唱に関する声明

現在ヨーロッパにおいては、ほとんどの国で規制が緩和されていますが、イギリスやロシアなどのいくつかの国や、ドイツの一部の地域では、いまだに歌うことを禁じたり、歌わないよう強く働きかけたりするケースが見られます。その一方、他のグループ活動、歌と同じく激しい呼吸を伴うスポーツや、大声で話したり笑ったりする社交的集まりは、いまではおおむね認められています。

ヨーロッパ合唱連盟は、いままでに出ている科学的エビデンスを集め、新型コロナウイルス資料集([Covid-19 resources document](#))に載せています。**最終的に科学が何を証明するにせよ——危険なのは歌うことではなく、新型コロナウイルスです。**

ヨーロッパ内外の各国の協力者とともに、連盟とそのネットワークが実施している包括的調査に基づき、わたしたちは自らの立場を明確にし、こう言わねばなりません——「これまでと変わらず、いまだに歌うことは人生をよりよいものにする」プレスリリースの全文をこちらでごらんください。[Press Release](#)

ヨーロッパにおける集団歌唱の状況について情報をお求めの方は、いつでもヨーロッパ合唱連盟にお問い合わせください。連盟のウェブサイト、「**新型**



コロナウィルスの感染爆発——合唱界はどう対応すべきか? ([COVID-19 Outbreak: How does the choral world deal with it?](#))」の情報も併せてご利用ください。

ヨーロッパ・カンタート・ジュニア

大変、残念なお知らせです。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、数々の懸念が生じたため、リトアニアのヴィリニュス開催のヨーロッパ・カンタート・ジュニアは2022年の夏に延期することになりました。

運営チームは各関係団体とともに、将来のよりよい時期を見据え、たゆみなく働いています。来年以降は、一堂に会し、ともに歌う、たくさんの機会を、児童合唱団・青少年合唱団のみなさんにお届けできると思います。

- ・ **2021年** – 児童合唱団と青少年合唱団のためのアトリエ、2021年7月16日～25日、スロベニア・リュブリャナ開催のヨーロッパ・カンタート ([EUROPA CANTAT Festival](#)) にて
- ・ **2022年** – ヨーロッパ・カンタート・ジュニア ([EUROPA CANTAT Junior](#)) Vilnius, 2022年7月15日～24日、リトアニア・ヴィリニュス





- ・ **2023年** – ヨーロッパ・カンタート・ジュニア、2023年7月5日～13日、ベルギー・アントワープ

詳細は近日中にフェスティバルの公式チャンネルでお知らせします！ それまで、どうかお元気で！

IFCM会員からのお知らせ

カタルーニャ合唱連盟(FCEC)からのお知らせ

2017年7月22日のバルセロナ・第12回世界合唱シンポジウムの開幕からちょうど3年目のきょう、カタルーニャ合唱連盟は、このシンポジウムを総覧する7編の動画(期間中の各1日につき1編)を公開しました。これらの動画には、各招待合唱団の歌が1曲、〈サークル・コンサート〉の曲がいくつか、そして、サグラダ・ファミリア演奏会、オープニングおよびクロージング・コンサート、バルセロナ市外での演奏会の模様が収録されています。

今回のパンデミックの影響を受けた方々、合唱団の団員や合唱の歌い手、WSCM2017を実現させてくださった方々——FCECはそれらすべてのみなさんのために、この一連の動画を公開するとともに、惜しくも中止となってしまった今年のシンポジウム、オークランド・WSCM2020に向け、力を尽くしてきた主催団体のみなさんにこれを捧げます。

動画へのリンク: 7/22([July 22](#))・7/23([July 23](#))・7/24([July 24](#))・7/25([July 25](#))・7/26([July 26](#))・7/27([July 27](#))・7/28([July 28](#))・7/29([July 29](#))



訃報——DARINKA MATIĆ-MAROVIĆ

Emeritus Darinka Matić Marović教授は、ベオグラード芸術大学の学長・音楽学部長を務めたセルビアの指揮者です。ダンサーとして成功を収め、世界を舞台に活動する一方、合唱指揮者としても卓越していたMarovićは、セルビアの現代音楽のエキスパートとなっていました。Collegium musicumの指揮者を40年務めるあいだに、彼女の率いるこの合唱団は、ニューヨークのカネギー・ホールのほか、モスクワ、メキシコ・シティー、ローマ、サンフランシスコ、レニングラード、パリ、リスボン、マドリード、ニューデリー、ブリュッセル、シュトゥットガルト、ウィーン、プラハ、ブカレスト、北京、ベルリン、ストックホルム等、世界各地で公演を行いました。実に多くの人がMarovićの影響を受けています。その死は深く惜まれることでしょう。



カールス出版社からのお知らせ

わたしたちのブログ。あなたたちの愛するもの。合唱音楽。

カールス社が新たなブログ(CARUS blog)を始めました！ このブログでは、宗教曲・世俗曲両分野の合唱の専門家たちが、わたしたちみんなにとって旬な話題を取りあげ、あるときは演奏者の立場から、また、あるときは音楽学者の視点で、定期的に執筆します。合唱作品や合唱界の人物がテーマとなることもあるでしょう。ぜひ読んで、刺激を得てください！

2020年8月号

合唱界をつなぐボランティア



IFCMeNEWS

世界の合唱イベントカレンダー——2020年8月、9月

ヨーロッパ合唱連盟(ECA-EC)発行の合唱イベントカレンダー([Calendar of Choral Activities](#))、および、全米合唱指揮者協会(ACDA)のネットワーク、コーラルネット([ChoralNet](#))で、来月以降の合唱イベントをご確認ください。